

**製品名: CD1A/B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08259**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	CD1A CD1B
別名	
遺伝子 ID	909/910
SwissProt ID	P06126/P29016
免疫原	アミノ酸範囲 220~270 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

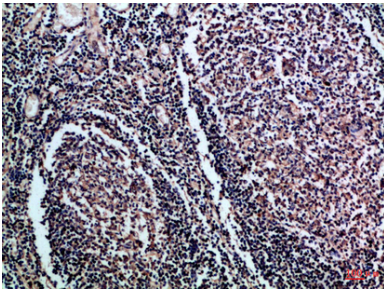
この遺伝子は、膜貫通糖タンパク質 CD1 ファミリーのメンバーをコードします。CD1 ファミリーは構造的に主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) タンパク質と関連し、β2 ミクログロブリンとヘテロ二量体を形成します。CD1 タンパク質は、主に自己または微生物由

来の脂質抗原および糖脂質抗原を T 細胞に提示する役割を果たします。ヒトゲノムには、1 番染色体上にクラスター状に配列した 5 つの CD1 ファミリー遺伝子が含まれています。CD1 ファミリーのメンバーは、細胞内局在および特定の脂質リガンドに対する特異性が異なると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞膜および初期エンドサイトーシス系のリサイクリング小胞に局在します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2016 年 3 月]機能: 自己および非自己の脂質抗原と糖脂質抗原に結合し、ナチュラルキラー T 細胞上の T 細胞受容体に提示する抗原提示タンパク質。、その他: タンパク質合成および成熟の過程で、CD1 ファミリーのメンバーは内因性脂質に結合し、タンパク質が内部移行してエンドソームを通過した後、細胞表面に戻る際に脂質抗原または糖脂質抗原に置き換えられる。、類似性: 1 つの Ig 様 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。、細胞内局在: 細胞膜とエンドソーム間の細胞内輸送を受ける。細胞表面脂質ラフトに局在する。、サブユニット: B2M ( $\beta 2$  ミクログロブリン) とのヘテロ二量体。 CD74 と相互作用します。、組織特異性: 皮質胸腺細胞、表皮ランゲルハンス細胞、樹状細胞、特定の T 細胞白血病、およびその他のさまざまな組織で発現します。、

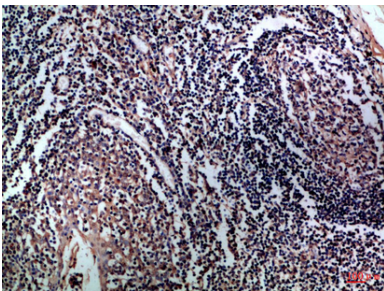
## 研究分野

造血細胞系統;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された